

科目名 Subject	美齢学演習 Gerontology Practice			教員名	大西 典子	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
		○	◎	◎		
科目の概要	美齢学とは、超高齢社会の社会課題解決のために本学独自の「美道五大原則」「美容福祉」をさらに発展させた学際の実践学である。今美容は、加齢や障害などに係る多様な領域にケア手段として発展していることを、様々な研究や実践から学ぶ。特に現在地域包括ケアにおける美容室の地域資源としての役割が問われており、認知症高齢者の美容室対応が求められている。そこで地域包括支援センターよりゲストスピーカーをお招きし、認知症サポーター養成講座を受講する。 特にケアとしての美容は、超高齢社会の現代社会や自分の周りで起こっていることに積極的に関心を持つこととなり、主体的行動力が養われる。また学習を進めることで、課題に対し、データや様々な思考法を用いて課題を分析し、社会状況を勘案した解決策を想定できる能力が養われる。またこれらを統合的に学習することで、自分のアイデンティティを認識し、自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を理解・尊重できる能力が養われることを目的にしている。 本授業は、各項目の研究実践を行っている教員によるオムニバス方式で実施する。					
授業方法	対面授業（感染状況によりオンライン授業へ変更となる場合があります）					
授業の目標	1 ジェロントロジー・美齢学・美容福祉の関連が述べられる。 2 加齢によるこころやかからだ、社会的な変化と美容がどうかかわるのか述べられる。 3 がん、認知症、ロコモティブシンドローム、フレイル、ストレスなどに対する美容の関わりと方法が述べられる。 4 美齢学、美容福祉に係る、社会課題と解決策について関係づけられる。					
時間外学習 （予習・復習）	（予習）毎回の授業のテーマのキーワードについて新聞・ニュース・インターネットの記事などから情報収集し、自分なりのイメージを持っておいください。情報の調べ方参考文献なども授業の最後に指示をします。 （復習）毎回の授業の最後に提示する課題に対して、授業の内容を踏まえて解答してください。					
教科書・教材	教科書	四訂美容福祉概論 学校法人山野学苑 中央法規 2018年				
	教材	なし				
	使用設備・備品	なし				
	参考文献	美齢学 山野正義 2018年 ジェロントロジー 山野正義 2015年				
評価方法	小テスト・課題（５０％）、定期試験課題レポート（５０％）					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。					
履修上の注意	様々な社会課題に対して美容をケア手段とされる取り組みが増えています。さまざまな社会課題について関心を持って取り組んでください。					
本科目履修と関連する資格	資格名	美容師免許取得コース学生は、日本美容福祉学会認定 福祉美容師				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション 人生100年時代におけるジェロントロジー・美齢学・美容福祉とは何かを学ぶ。	ジェロントロジー・美齢学・美容福祉とは何か述べられる。	社会課題と美容について予習 (30) 課題について復習 (30)
第2回	美容の心身への効果と、効果につなげるための要素を学ぶ	美容の効果につなげる要素が述べられる。	美容の効果について予習 (30) 課題について復習 (30)
第3回	加齢によるからだの変化と美容の関連について学ぶ。	加齢によるからだの変化と美容の関連が述べられる。	加齢とからだの変化について予習 (30) 課題について復習 (30)
第4回	加齢によるこころや社会的側面の変化と美容の関連について学ぶ。	加齢によるこころや社会的側面の変化と美容の関連が述べられる。	加齢とこころや社会的変化について予習 (30) 課題について復習 (30)
第5回	がんと美容1) がんサバイバーとアピアランスケアについて学ぶ。	がんサバイバーとアピアランスケアとは何か述べられる。	がんと美容について予習 (30) 課題について復習 (30)
第6回	がんと美容2) がんサバイバーとアピアランスケアについて学ぶ。	アピアランスケアの方法が述べられる。	がんと美容について予習 (30) 課題について復習 (30)
第7回	認知症と美容1) 八王子市包括支援センター南大沢の講師による認知症サポーター研修を受ける。 【ゲストスピーカー：八王子市包括支援センター南大沢講師】	認知症の基礎的な意味と対応のしかたが述べられる。	認知症と美容について予習 (30) 課題について復習 (30)
第8回	認知症と美容2) 認知症の人と美容の接し方について学ぶ。	美容場面での認知症者に対するユマニチュードについて述べられる。	認知症と美容について予習 (30) 課題について復習 (30)
第9回	高齢者のロコモ予防のためのフットケアと足爪ケアについて学ぶ	高齢者のロコモ予防のためのフットケアと足爪ケアのポイントが述べられる。	高齢者の足について予習 (30) 課題について復習 (30)
第10回	美容事業継続のための新型コロナのリスク評価と対策について学ぶ	美容事業継続のための新型コロナ感染症のリスク評価と対策が述べられる。	感染予防対策について予習 (30) 課題について復習 (30)
第11回	美容福祉の展開1) サロン事業と訪問美容の事業形態の違いと訪問美容のカットやシャンプーについて学ぶ	サロン事業と訪問美容の授業形態や、訪問美容の方法について述べられる。	美容福祉事業について予習 (30) 課題について復習 (30)
第12回	美容福祉の展開2) 高齢者や障がい者の装いの意義と課題について学ぶ。	高齢者や障害者の装いについての意義と課題が述べられる。	高齢者や障がい者の装いについて予習 (30) 課題について復習 (30)
第13回	美容福祉の展開3) 車いす利用者の着付けについて学ぶ	車いす利用者に配慮しながら着付けが実施できる。	車いす利用者の着付けについて予習 (30) 課題について復習 (30)
第14回	人生会議やグリーフケアに関わる美容事業を学ぶ	人生会議とグリーフケアに関わる美容について述べられる。	人生会議について予習 (30) 課題について復習 (30)
第15回	美齢学の社会還元とSDGsについて学ぶ	美齢学の社会還元とSDGsの意義が述べられる。	社会課題と美容について整理しておく (30) 課題について復習 (30)